

令和4年度「第5次知多市庁内環境保全率先実行計画」に基づく取組の推進状況

本市では、第5次知多市庁内環境保全率先実行計画（以下「第5次計画」という。）を策定し、市が行う事務事業等から発生する温室効果ガスの削減に向けて取り組んでいます。

この計画は、令和元年度から12年度までの12年間を計画期間として、清掃センターから排出される温室効果ガスを除いた市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量を、平成25年度の排出量を基準として、令和12年度に40%削減することを目指しています。なお、清掃センターについては、現行施設の運転終了まで各年度の温室効果ガス排出量を前年度以下に抑制することを目指しています。

基準年度の温室効果ガス排出量と目標

	基準年度 平成25(2013)年度	目標年度 令和12(2030)年度
温室効果ガス排出量 (清掃センターの排出量を除く)	11,355t-CO ₂	6,813t-CO ₂ (40%削減)
清掃センターの排出量 (令和5年度末廃止予定)	13,754t-CO ₂	運転終了まで 前年度以下に抑制

- ※ 計画の対象としている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）です。
- ※ 温室効果ガス排出量の算定には、電気やガスの使用量など温室効果ガスの排出源となる各活動の活動量に温室効果ガス排出係数と地球温暖化係数を乗じて算定します。

1 令和4年度の温室効果ガス排出量実績について

	令和3年度 (前年度)	令和4年度 (今年度)	増減率	
			前年度	基準年度
温室効果ガス排出量 (清掃センターの排出量を除く)	10,055t-CO ₂	7,472t-CO ₂	△26%	△34%
清掃センターの排出量 (令和5年度末廃止予定)	14,966t-CO ₂	15,030t-CO ₂	0.4%	※

※ 清掃センターの排出量について、基準年度に対する目標は、ありません。

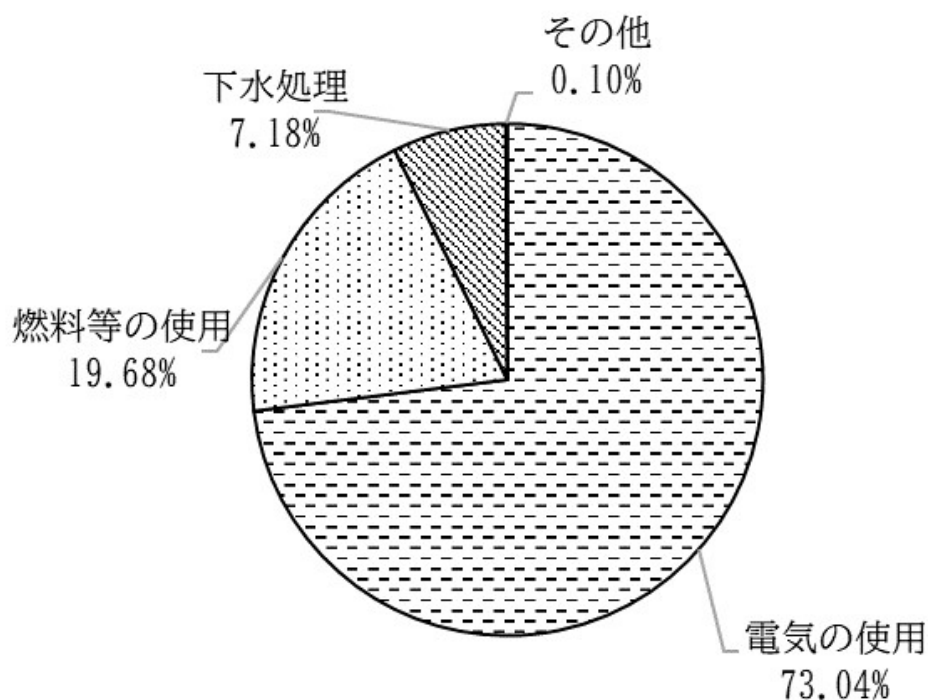
●市の事務事業から排出された温室効果ガスは、前年度に対して、2,583t-CO₂減少しました。前年度と比較して減少した要因としては、南部浄化センターで行っていた汚泥焼却を廃止し、衣浦西部浄化センターでの共同焼却処理に変更したためだと考えられます。また、基準年度に対しては、34%の減少となりました。基準年度との比較について、日頃からの節電意識の向上、設備の運用方法の改善等の対策の影響があり、電気、ガスなどのエネルギー使用量が減少し、温室効果ガス排出量が減少したと考えられます。

●清掃センターから排出された温室効果ガスは、前年度に対して、64t-CO₂の増加となりました。搬入されたごみの量の減少により、温室効果ガス排出量は減少しましたが(△25 t-CO₂)、ごみ処理設備の運転に必要な電気や都市ガスの使用に伴って排出された温室効果ガスは、増加し(89 t-CO₂)、温室効果ガスの総排出量は前年度より増加しました。

※ 廃プラスチックの焼却量は、一般廃棄物焼却量にごみ質分析における組成割合(乾ベース)を乗じて算出しています。

2 令和4年度の要因別排出量について

市の事務事業から排出される温室効果ガスは、主に電気や都市ガスといったエネルギーの使用に伴うものや、ごみの焼却（一般廃棄物処理）、下水処理に伴うものがあります。



清掃センターを除く市の事務事業から排出された温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って排出されたものが約90%を占めており、その中でも、電気の使用に伴うものが約7割を占めています。そのため、電気やガスを使用する設備の適正管理や、更新時にエネルギー効率の高い設備を導入するなど、エネルギーの使用量を削減し、温室効果ガス排出量の削減を図っていく必要があります。

市では、引き続き、温室効果ガスの削減に向けた取組を進めていきます。